



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月31日

上場会社名 株式会社 島精機製作所 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 代表取締役社長 島 正博  
 問合せ先責任者 専務取締役経理部長 田中雅夫 TEL(073)471-0511(代表)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	52,889 82.7	14,607 223.7	16,520 195.4	9,118 378.0
19年3月期第3四半期	28,956 7.6	4,512 92.9	5,591 44.8	1,907 △13.9
19年3月期	47,079	7,709	9,450	3,113

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	254 17	238 37
19年3月期第3四半期	52 29	51 68
19年3月期	86 17	83 51

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	133,989	103,763	74.1	2,705 23
19年3月期第3四半期	123,339	91,392	71.3	2,508 17
19年3月期	129,161	92,810	69.2	2,546 71

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	13,923	△560	△10,003	19,168
19年3月期第3四半期	6,497	△13,890	12,371	14,191
19年3月期	10,691	△16,222	12,225	15,954

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	70,000 48.7	19,000 146.5	20,000 111.6	11,000 253.3	299 74

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の当社グループの連結業績は、コア・ビジネスである横編機事業において、主力の中国、香港市場では、人件費高騰と繊維産業における労働力不足などを背景に手動編機からコンピュータ横編機への転換需要が引続き活発に推移しました。同市場では他社との競合も厳しくなっておりますが、主力機種「SSG」「SIG」シリーズが高い生産性、操作性、安定した品質で優位性を保ち、また販売子会社との連携強化により、きめ細かい技術サービスを展開したことでユーザーの満足度を高め、08年秋冬ニット生産に向けての設備投資が進むこの時期に、売上の拡大とともに非常に強い引合い状況が続きました。一方、中国製ニット製品の輸入の拡大により設備投資が停滞していたイタリアやトルコ、韓国においても、生産体制の効率化で競争力を高め、「SSG」「SIG」を中心に設備更新が進んだことで、前年同期に比べて売上が回復しました。国内市場においても製品輸入比率が依然として高水準にあります。ニット製品の高付加価値化に取り組むなど国内生産回帰への動きが進みました。これらの結果、横編機事業の売上高は460億84百万円（前年同期比88.9%増）と大幅な伸びとなりました。

デザインシステム関連事業は、ニット・アパレル業界において、短納期で魅力あふれる高品質なモノづくりを実現する革新的なツールとして「SDS-ONE」の提案販売に傾注したことで、国内および海外市場でも伸び、売上高は13億30百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

手袋靴下編機事業ではアジアの新興国市場で売上が伸びたものの、全体的には微増に留まり、売上高は15億33百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

その他事業を含めた当第3四半期の全体の売上高は過去最高の528億89百万円（前年同期比82.7%増）と大幅な増加となり、海外売上高比率は94.5%となりました。利益面におきましては、横編機事業における売上高の増加に加えて、増産等による売上原価率の低減や、昨年度の海外事業戦略において連結グループに統合した香港、イタリアの販売子会社が業績貢献し、営業利益は146億7百万円（前年同期比223.7%増）、為替差益等が加わった経常利益は165億20百万円（前年同期比195.4%増）、当第3四半期純利益は91億18百万円（前年同期比378.0%増）と大幅な増加となり、いずれも第3四半期の業績としては過去最高を記録しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は前期末に比べ48億28百万円増加し、1,339億89百万円となりました。また、純資産の額から少数株主持分を控除した自己資本の額は992億76百万円となり、自己資本比率は74.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては税金等調整前四半期純利益が162億74百万円と高水準であったことなどにより139億23百万円の収入となりました。投資活動においては有形固定資産の取得などにより、5億60百万円を支出しました。また財務活動においては短期借入金の返済、自己株式の取得、配当金の支払などに100億3百万円を支出しました。この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は191億68百万円となり、前期末に比べて32億14百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は中国、香港市場を中心とするコンピュータ横編機の大幅な売上増加や為替差益により、過去最高の増収増益となりました。今後の見通しとしてサブプライムローン問題を端緒とする世界的な金融不安や米国経済の減速、急激な円高の進行、原油高の影響など先行き不透明な要素はありますが、中国、香港市場における旺盛な設備投資意欲は第4四半期においても持続するものと見られることから、平成20年3月期の通期の業績は、平成19年10月31日の中間決算発表時における予想を上回る見込みとなりましたので、売上高および各段階における利益の業績予想額を修正致します。なお、個別業績予想についても同様であります。

<参考>

平成20年3月期の個別業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	60,000	37.1	14,000	99.3	13,000	48.8	6,800	88.5	185	30

\* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

4. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
( 資 産 の 部 )				%	
I. 流 動 資 産	81,960	87,171	5,211	6.4	81,239
現金及び預金	17,356	19,579	2,222		15,212
受取手形及び売掛金	40,168	45,978	5,809		43,706
たな卸資産	18,521	17,759	△761		16,200
その他	7,701	6,389	△1,312		8,446
貸倒引当金	△1,787	△2,534	△746		△2,325
II. 固 定 資 産	41,378	46,817	5,438	13.1	47,921
1. 有 形 固 定 資 産	19,859	21,746	1,887	9.5	21,500
建物及び構築物	6,634	6,606	△28		6,534
土地	10,664	10,669	5		10,668
その他	2,560	4,470	1,910		4,297
2. 無 形 固 定 資 産	11,268	10,251	△1,016	△9.0	10,921
のれん	11,125	10,099	△1,025		10,767
その他	143	152	9		154
3. 投 資 其 他 の 資 産	10,251	14,818	4,567	44.6	15,499
投資有価証券	5,393	8,001	2,607		9,579
その他	6,032	8,305	2,272		7,018
貸倒引当金	△1,175	△1,488	△312		△1,098
資 産 合 計	123,339	133,989	10,650	8.6	129,161
( 負 債 の 部 )					
I. 流 動 負 債	16,369	21,555	5,185	31.7	20,509
支払手形及び買掛金	6,190	9,600	3,409		7,481
短期借入金	4,686	230	△4,455		4,561
賞与引当金	465	1,060	594		879
債務保証損失引当金	697	394	△303		331
その他	4,329	10,270	5,940		7,256
II. 固 定 負 債	15,576	8,670	△6,906	△44.3	15,841
新株予約権付社債	10,048	2,910	△7,138		10,045
長期借入金	3,000	3,000	—		3,071
退職給付引当金	1,526	1,685	158		1,711
役員退職慰労引当金	1,001	1,075	73		1,012
負 債 合 計	31,946	30,226	△1,720	△5.4	36,351
( 純 資 産 の 部 )					
I. 株 主 資 本	95,098	106,848	11,749	12.4	96,301
資 本 金	14,859	14,859	—		14,859
資 本 剰 余 金	21,724	22,396	672		21,724
利 益 剰 余 金	65,507	74,209	8,702		66,713
自 己 株 式	△6,992	△4,617	2,374		△6,995
II. 評 価 ・ 換 算 差 額 等	△7,132	△7,571	△439	—	△6,986
その他有価証券評価差額金	105	△235	△340		269
土地再評価差額金	△7,518	△7,518	—		△7,518
為替換算調整勘定	280	181	△98		262
III. 少 数 株 主 持 分	3,426	4,487	1,060	31.0	3,494
純 資 産 合 計	91,392	103,763	12,370	13.5	92,810
負 債 、 純 資 産 合 計	123,339	133,989	10,650	8.6	129,161

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売 上 高	28,956	52,889	23,932	82.7	47,079
II. 売 上 原 価	15,535	23,996	8,460	54.5	25,013
売 上 総 利 益	13,420	28,892	15,471	115.3	22,066
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,908	14,285	5,377	60.4	14,357
営 業 利 益	4,512	14,607	10,094	223.7	7,709
IV. 営 業 外 収 益	1,669	2,090	420	25.2	2,039
V. 営 業 外 費 用	590	177	△413	△70.0	297
経 常 利 益	5,591	16,520	10,928	195.4	9,450
VI. 特 別 利 益	56	—	△56	—	1,607
VII. 特 別 損 失	2,155	246	△1,909	△88.6	4,874
税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,492	16,274	12,781	366.0	6,182
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	521	6,391	5,870	—	3,381
法 人 税 等 調 整 額	916	△246	△1,163	—	△615
少 数 株 主 利 益	147	1,011	864	587.3	302
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	1,907	9,118	7,210	378.0	3,113

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,492	16,274	6,182
減価償却費	983	1,742	1,541
貸倒引当金の増加額	2,316	825	1,270
賞与引当金の増加額(△減少額)	△313	179	100
受取利息及び受取配当金	△429	△831	△587
売上債権の減少額(△増加額)	2,260	△3,416	△1,501
たな卸資産の減少額(△増加額)	△1,379	△1,505	76
仕入債務の増加額(△減少額)	△913	2,307	△183
その他	2,046	1,199	5,392
<b>小 計</b>	<b>8,063</b>	<b>16,775</b>	<b>12,291</b>
利息及び配当金の受取額等	389	651	458
法人税等の支払額	△1,955	△3,503	△2,058
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,497</b>	<b>13,923</b>	<b>10,691</b>
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の純増加額	△2,299	△152	△891
有価証券の純減少額(△純増加額)	△939	430	△939
有形固定資産の取得による支出	△611	△1,461	△818
投資有価証券の純減少額(△純増加額)	△871	811	△4,879
営業譲受による支出	△8,559	—	△8,583
その他	△608	△188	△110
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△13,890</b>	<b>△560</b>	<b>△16,222</b>
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増加額(△純減少額)	1,905	△4,317	1,865
長期借入れによる収入	3,000	—	3,000
社債の発行による収入	10,027	—	10,027
少数株主への株式の発行による収入	3,021	—	3,021
自己株式の取得による支出	△4,305	△4,078	△4,308
配当金の支払額	△1,278	△1,532	△1,373
その他	0	△74	△6
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>12,371</b>	<b>△10,003</b>	<b>12,225</b>
<b>IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>102</b>	<b>△144</b>	<b>149</b>
<b>V. 現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>5,080</b>	<b>3,214</b>	<b>6,843</b>
<b>VI. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>9,110</b>	<b>15,954</b>	<b>9,110</b>
<b>VII. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>14,191</b>	<b>19,168</b>	<b>15,954</b>

## セグメント情報

### [事業の種類別セグメント情報]

(1) 前年同四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	横編機事業	デザインシステム 関連事業	手袋靴下 編機事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	24,393	1,115	1,397	2,050	28,956	—	28,956
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,393	1,115	1,397	2,050	28,956	—	28,956
営業費用	16,593	934	1,055	1,995	20,578	3,865	24,443
営業利益	7,800	180	342	54	8,378	(3,865)	4,512

(2) 当四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	横編機事業	デザインシステム 関連事業	手袋靴下 編機事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	46,084	1,330	1,533	3,941	52,889	—	52,889
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	46,084	1,330	1,533	3,941	52,889	—	52,889
営業費用	27,399	1,324	1,199	4,041	33,964	4,317	38,281
営業利益（又は営業損失△）	18,684	5	334	△100	18,924	(4,317)	14,607

(参考) 前期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	横編機事業	デザインシステム 関連事業	手袋靴下 編機事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	38,736	1,433	2,188	4,720	47,079	—	47,079
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	38,736	1,433	2,188	4,720	47,079	—	47,079
営業費用	26,610	1,292	1,614	4,768	34,286	5,084	39,370
営業利益（又は営業損失△）	12,126	141	573	△47	12,793	(5,084)	7,709

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品等

(1) 横編機事業-----コンピュータ横編機、セミジャカード横編機

(2) デザインシステム関連事業-----コンピュータデザインシステム、ニットCADシステム  
アパレルCAD/CAMシステム

(3) 手袋靴下編機事業-----シームレス手袋・靴下編機

(4) その他事業-----編機・デザインシステム用部品、ニット製品製造卸売業、  
修理、保守、ホテル業

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	前年同四半期	当四半期	前期
横編機事業	25,855	40,248	36,458
デザインシステム関連事業	890	710	1,165
手袋靴下編機事業	1,330	1,423	1,987
合計	28,076	42,382	39,611

(注) 生産高は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	前年同四半期		当四半期		前期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
横編機事業	31,338	12,420	56,812	20,436	42,968	9,707
デザインシステム関連事業	1,132	69	1,336	161	1,537	155
手袋靴下編機事業	1,553	515	1,400	227	2,188	360
合計	34,024	13,005	59,549	20,825	46,694	10,224

(注) 受注高、受注残高には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	前年同四半期	当四半期	前期
横編機事業	24,393	46,084	38,736
デザインシステム関連事業	1,115	1,330	1,433
手袋靴下編機事業	1,397	1,533	2,188
その他事業	2,050	3,941	4,720
合計	28,956	52,889	47,079

(注) 販売高には消費税等は含まれておりません。